



大 き な 期 待

専務取締役

大久保 哲二郎

謹んで新春の御祝詞を申し上げます。

第二次オイルショック後はここ三年有半、会社業務も極度に低迷し暗い年末年始を過しましたが、本年は多少薄日がさして明るく新年を迎え得ました事、御同慶の限りでございます。全従業員が一丸となって、それぞれの部署で不況脱出に懸命の努力を結集した事、省エネ施策が英断を以って的確に実施された事によるものと判断致しております。

先端技術の領域で当社の研究開発の輝かしい成果が幾つも発表され、世間をアッと言わせ注目を集めました事は、近来にない一大快挙でした。長年地道な研究開発に没頭された研究本部の皆さん、そしてそれを間接的に支えた部門の皆さんに対し満腔の敬意を捧げる次第でございます。

歴代社長が採配された「研究」に対する執念と意欲が次第に開花結実し始めたものとして、その意義は測り知れないものがあります。当社及び東曹グループは勿論、東曹と関係ある人、東曹を知る人、萬人に対して大きな喜びと限りない勇気を与えるものでした。

蒸気、電気、鉄鋼、高分子、エレクトロニクス等々、人類の歴史で自然科学は周期的に技術革新と産業革命をもたらして進化したと言われます。今世紀の最終段階にさしかかり、宇宙科学、生命生体科学、光科学、新素材、情報システム等々多面的に一斉に猛烈な技術革新時代に突入していることをひしひしと感じます。此等の先端技術一新産業革命の流れは、寸刻を争うものであり、展開のスピードも予想以上に速いものになると考えます。凡そ世界中の知識人、良識派の人々が均しく重大関心を寄せているところであり、熾烈な競争が展開してゆくものと思われます。

技術陣の研究開発の一層の御研鑽に会社の将来がかかっていると声高に申し上げなければなりません。同時に冷徹な取捨選択と力、資源の配分、応用開発の仕組み、展開の手法等英知を集めての対応が緊要になってくると思料致します。

皆さんの御奮闘を祈ります。